

●第163号(二〇〇八年九月)

特集 創造都市横浜

- 1 都市構想を立案する意義  
創造都市横浜構想は未来社会の起点——北沢 猛
- 2 〈座談会〉横浜の創造都市の新たな展開にむけて  
佐々木雅幸・秋元雄史・川口良一
- 3 横浜市の創造都市施策の実績と検証  
開港150周年に向けた都心臨海部の再生について  
ナショナルアートパーク構想の推進——村上 一徳
- ②「創造界隈」の形成はヨコハマを変えたか  
永井由香
- ③ヨコハマ流「映像文化都市」  
鳥丸雅司
- ④「横浜トリエンナーレ」が3回も続くわけ  
横浜らしさとは何か——野田日文・齋藤淳一
- ⑤創造の担い手育成  
創造的都市空間をつくる  
齋藤淳一・山下由美
- 4 創造的都市空間をつくる  
都市デザインから創造都市への流れ——網河 功
- 5 「文化芸術振興」「文化芸術創造都市」、そしてその先へ  
創造都市戦略による地域のイノベーションと情報発信の推進、経済振興施策としての「創造都市」  
金子延康
- 6 創造都市戦略による地域のイノベーションと情報発信の推進、経済振興施策としての「創造都市」  
小島寿也
- 7 創造都市の現場から  
Bank ART 1929はどこにいく?  
池田 修
- ②急な坂スタジオの実験と挑戦  
相馬千秋
- ③生態系としてのまちづくり——寿町での取り組み  
岡部友彦
- ④アートコミッション・ヨコハマとは何か  
杉崎栄介
- 8 創造都市の新たな展開  
旧特殊飲食店街初美・日ノ出町地区の再生へ向けて  
鈴木伸治

「横浜会議」からの報告

- 市民による市民のための地図作り環境と活動成果の共有に関する調査  
野崎隆志
- 病院が行う看護職者に対する育児支援  
事業所内保育施設の実態調査  
西 典子・勝川由美・永田真弓・坂梨 薫
- 改革レビュー  
鶴見中央地域ケアプラザ福祉機器展示で一石四鳥  
古谷朋子

●第164号(二〇〇九年三月)

特集 脱温暖化への道

- 1 低炭素社会に向けた挑戦  
藤野純一
- 2 横浜市の温暖化対策  
越智洋之
- 3 CO2D30 ロードマップ策定  
①地球温暖化対策におけるバックキャストイングとフォアキャストイング接続の試み  
②「CO2D30 ロードマップ」の形成過程  
田中信一郎
- ②家庭部門の検討から  
家庭から脱温暖化社会へのアプローチ  
南 正也・池上武史
- ③事業部門の検討から  
事業者、消費者の連携で削減を——内山幹子

④交通部門の検討から  
低炭素型交通へのスタートアップ

- ⑤再生可能エネルギー部門の検討から  
再生可能エネルギー10倍へのアプローチ  
黒田美夕起
- ⑥市役所部門の検討から  
市役所・都市と緑  
岡崎修司
- ⑦脱温暖化都市にむけて  
民間からの提言  
工藤牧子  
田口香苗
- ①低炭素社会実現に向けた交通システム改善のポイント  
松橋啓介
- ②都市・地域的視点からみた低炭素対策  
吉田 聡
- ③シンクローパー・アクロロカリーの実践へ  
「市民力」を引き出し、温室効果ガスの削減につなげるために  
桃井貴子
- ④持続可能な環境都市を培うために  
G30の取組  
田中稲子
- 5 G30の取組  
濱田雅巳・小林野武夫
- ②G30を推進する組織  
津島邦宏
- ③「ヘンタビュ」局長の決意  
佐々木五郎
- ④地域と協働で取り組むG30磯子区編  
仲川高照
- ⑤地域と協働で取り組むG30磯子区編  
秋保友子
- ⑥G30の成果  
仲川高照  
金田聖勝

調査研究レポート

- 1 グループ  
子育てを起点とした市民力の向上戦略  
魚屋義信・田雑由紀乃・小室 徹
- 2 グループ  
地域課題解決に向けた組織機能のあり方  
大きくすぎる「基礎自治体」の再編  
三上章彦・毛涯清隆・小嶋哲夫・鈴木健一・山本 治・新井達夫・林 賢是
- 3 グループ  
時代ニーズへの即応性向上に向けた戦略  
未来のニーズを予知し、先手を打つ行政への転換  
日比野正芳・田中博章・森 秀毅・小泉英一・緒賀道夫・伊藤 勇・谷口尚二
- 改革レビュー  
区役所窓口サービスの向上に向けて  
熊坂俊博

●第165号(二〇〇九年一月)

特集 「横浜市民生活白書2009」を読み解く

- 1 様々な角度から見た市民生活白書  
「横浜市民生活白書2009」の概要  
不安の時代に生きる8つの市民像  
編集部
- ③子育て支援から見る市民生活の課題と今後の方向性  
倉田真希

④市民像と地域性に着目した施策展開の重要性  
超高齢社会への対応の視点から

- ⑤変化の時代の雇用政策  
梅澤厚也
- 2 区民意識調査から見る区の多様性  
鈴木宏昌
- ①意識調査から見えてくる区民の特性  
平井 聡
- ②意識調査から見えてくる区民の特性  
濱谷区の事例  
佐藤千香
- 3 民間の視点から見た市民生活白書  
これからのヨコハマはどこへ行く  
官民協働型の横浜分析の提言  
小嶋 寛
- 4 人口動態から見る横浜  
①市民の定住意識と人口移動  
編集部
- ②〈座談会〉人口動態から今後の横浜のまちづくりを考える  
大木節裕、鈴木和宏、中川久美子、宮本正彦、梅澤厚也、黒田浩、吉田和重

調査研究レポート

- みんなを取り組む150万本植樹行動  
市民・企業・行政の多様な主体による緑の協働行動  
江成卓史
- 横浜会議からの報告  
地域協働による学校と子どもの地域参画促進を目指したサステイナブル圏域の可視化調査  
三輪律江、海老原修、稲垣景子、田中稲子、佐藤祐子
- 改革レビュー  
区役所窓口サービスの向上に向けて2  
窓口サービスのソムリエになろう!  
熊坂俊博  
元吉由紀子

編集・発行

横浜市都市経営局政策課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

TEL.045-671-4087

2010年3月31日発行

印刷/株式会社カイセ印刷

ISSN0387-8899

500 円(消費税込み)

あとがき

今年度の調査季報では前号発行にあわせて見直しを行い、職員向けアンケートを実施した。アンケートでは、「業務の課題認識と季報の内容が直接つながらない」、「予算状況が厳しい折発行する必要性を感じない」等の厳しい意見もあった。一方、全職場で唯一回覧される雑誌、興味深く内容が濃い、等の意見も多くあった。アンケートの内容も踏まえ、庁内WEBでの新たな発信や、市の政策立案に加えて現場の業務に役立つよう内容の充実をめざしていきたい。(間宮)

●「調査季報」は、職員が自由に意見を発表し討論する政策研究誌です。調査研究、改革レポートなど、投稿をお待ちしています。